

2019耐久茶屋 ~Force One-Fourthの宴~

CBR250R Dream Cup DUNLOP杯 グランドチャンピオンシップ/ビギナーチャンピオンシップ2019



公式通知 No. 2-2



2019年11月 5日

主催：一般財団法人日本オートスポーツセンター (JASC)

【大会期間中の注意事項 及び お知らせ】

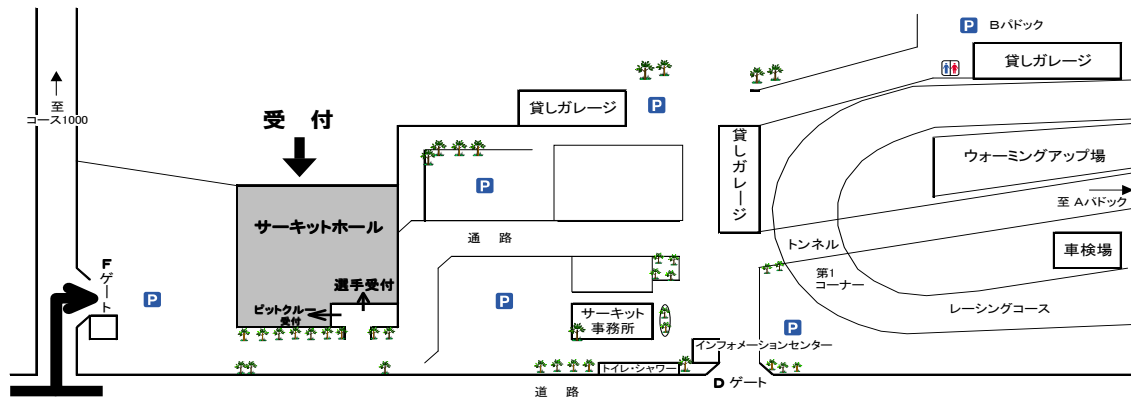
- ・ピットレーンの制限スピードが40km/h以下となっております。ご注意ください。
- ・喫煙マナー向上にご協力ください。**タバコは決められた喫煙場所**でお願いします。ルールのご遵守をお願いします。また、電子タバコやノンアルコールビールなどの紛らわしいものについては十分配慮下さい。

1. ライダー受付 (筑波サーキットホール)

11月22日 (金) 14:00~16:00 / 11月23日 (土・祝) 6:40~ 8:10

提示物 ①**2019MFJ競技ライセンス** (提示できない者は理由の如何に関わらず出場できない)

②参加受理書 ③車両仕様書 (無記入の車両仕様書では受付できない) ※健康保険証は、各自必ず所持をすること。



★連絡車は自転車に限る (ミニバイク・スクーター等は禁止)。

2. ピットクルー受付

- (1) ピットクルー受付は、選手受付と同じ時間帯で行う。**2019MFJピットクルーライセンス**を必ず持参すること。
- (2) ピットクルーのパスは受理書に同封する。ピットクルー受付を済ませていなかったり、ピットクルーとして登録されていない人がパスを使用するなど、不正が発覚した場合には、その当該ライダーとピットクルーに罰則が科せられ、次回以降の大会に参加できない。※ピットクルー受付にて本人確認済みのスタンプが押されたパスのみが有効となる。配布されたパスは、パスケースの中にピットクルーライセンスと共に装着すること。
- (3) ピットクルーの変更がある場合は、必ずピットクルー受付時に変更を届け出ること。(変更料は1名に付1,100円)
- (4) 事前販売したパドックパスではピットロード、スターティンググリッドへの入場はできない。

3. ウォーミングアップエリア

ウォーミングアップ場の使用は、**7:20から16:00**までとする。入場できるのはライダーおよびピットクルーに限られ、安全上適切な服装をすること。また、暫定表彰式などの理由によりエンジンを停止させることがあるので、随時オフィシャルの指示に従うこと。

4. 公式車両検査

- (1) 時間 : 別紙タイムスケジュール参照
- (2) 場所 : Aパドック内車検場
- (3) 提示物 : ①参加車両 ②車両仕様書 (ガソリン購入証明印・受付印済みのもの) ③ヘルメット・レーシングスーツ・グローブ・ブーツ・ヘルメットリムーバー・**脊柱プロテクション**・**胸部プロテクション**
- (4) 車検場にはアンダーカウルを外した状態で車両を持ち込み、外したアンダーカウルも持参しなければならない。
- (5) **トランスポンダーを搭載した状態で車両を持ち込むこと。**(取付場所は、メインフレームフレームピボッドシャフト付近とする)
※トランスポンダー及び取付けホルダーの破損、紛失については、実費をお支払い頂きます。本体:50,000円(税込)/ホルダー:1,000円(税込)

- (6) 車載カメラの搭載を希望する場合には、車両仕様書の申請欄に署名し、事務局確認印を得ること（2台目以降のカメラ取り付けは有料）。また、カメラを搭載した状態で車検を受けること。カメラはカウル内に収めるなどし脱落防止に努めること。走行中に脱落した場合には罰則（罰金を含む）を科す場合がある。
- (7) 車検時に申告した内容（ヘルメット等の装備を含む）に変更のある場合は、必ずその内容について車検長に申告し、再車検を受けること。
- (8) **公式車検時にタイヤマーキングを行う。但し、設定された時間帯にタイヤマーキングができない場合は、当該クラス予選開始前迄に車検場にてマーキングを行うこと。**
 ※練習走行の、タイヤ使用本数制限は行わない。

5. パドック・ピットの使用について

- (1) Aパドック内は、各自指定されたスペースのみ使用することができる。（1区画、3m×3m）指定スペースの変更は、双方合意の場合のみ可能とする。変更する際は、必ずレース事務局に報告すること。
 ※指定スペースは、別紙参照。
- (2) ピットボックスの割り当ては行わない。走行中は、ピット作業エリアを使用すること。
 ※ピットボックスを使用する場合は、耐久レース参加チームに配慮し、トラブルの無いようご注意ください。

6. コースイン・コースアウトの補足

- (1) 練習走行・公式予選・決勝のコースインは、Bゲート（コントロールタワー側）より行う。
- (2) 練習走行・公式予選・決勝のコースアウトは、Cゲート（ピットレーンエンド側）より行う。
- (3) 予選時間内であれば、トラブルなど特別な理由の場合、ピットボックス及びパドックに入った後もコースに復帰できる。

7. コース内スタート練習について

スタート練習は、基本的に特別スポーツ走行日に定められた時間帯で行うこと。やむを得ずコース内で行う場合は、練習走行及び予選終了後（チェッカー後）にバックストレート右側、プラクティススタート看板の位置からのみ行うことができる。同時にスタート練習できる台数は2台までとし、後続車や周囲に十分注意し、各自の責任において行うこと。

8. ウェイティングライダーの扱い

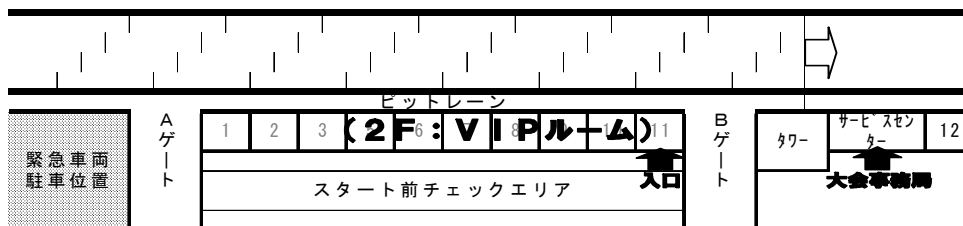
- (1) ウェイティングを希望するライダーは予選暫定結果発表後30分以内に申請書を大会事務局に提出しなければならない。
- (2) 申請書提出者のうち、タイム順上位3位までがウェイティングライダーとして認められる。
- (3) **予選暫定結果発表後30分以内にリタイヤがない場合の出走は不可となる。**
予選通過者で決勝レースに出場できないものは、必ずリタイヤ届を提出すること。
- (4) 出走の可否は、審査委員会により審議され、正式グリッド表にて発表する。

9. 出走嘆願書の扱い

- (1) 予選基準タイムに満たない選手について、過去の実績を考慮した上で、審査委員会の判断で出場を認める場合がある。
- (2) 予選に出走していないライダーの出走嘆願書は受け付けられない。
- (3) 出走嘆願書の提出期限は予選暫定結果発表後30分以内とする。
- (4) 出走の可否は、審査委員会により審議され、正式グリッド表にて発表する。

10. プリーフィング

決勝レース進行説明および、安全対策のためにライダーズプリーフィングを11番ピット上VIPルームにて行います。最終的な重要事項の確認を行いますので、時間になりましたら必ずお集まり下さい(遅刻厳禁)。遅刻・欠席した場合は罰則が課せられる。
 (欠席：5,000円 / 遅刻：2,500円) 場合により決勝レースに出走できないこともある。



11. 決勝スタート前チェック

- (1) 決勝スタート前チェックは、スタート予定時間の25分前に開始し11分前に終了する。
 尚、時間内に届出または、連絡のないそのライダーはオフィシャルの判断によりリタイヤとみなす。
- (2) スタート前チェックを済ませたあと、マシンをその場所から移動させてはならない。
- (3) 同時にヘルメットチェックを行うので、必ずヘルメットをスタート前チェック時に持参すること。
- (4) 何らかの理由によりタイムスケジュールが遅延した場合でも、スタート前チェックは定められた時間通りに行う。
 尚、新たに大会事務局より時間が設定された場合には、その指示に従うこと。

12. サイティングラップ

- (1) サイティングラップ開始から3分後にピットレーン出口は閉鎖される。それ以降にグリッドにつく場合はオフィシャルの指示に従って直接自分のグリッドに押して行くこと。サイティングラップ開始後のグリッド上での給油は禁止される。
- (2) グリッド上でタイヤウォーマーの使用およびタイヤウォーマー用にジェネレーターの使用が認められる。マシン1台につきハンディタイプのジェネレーター1台迄可能とし、車両の後方に置いて使用すること。但し、スタート進行遅延の原因となる場合は、規則を変更する場合も有る。

13. ウォーミングアップラップスタート方法

- (1) 1分前エンジン始動（正規の位置後方よりエンジンをかけ、正規の位置に待機）
- (2) フラッグタワーより提示されるグリーンフラッグの合図でスタートする。

14. ピットレーン先端（ピット前）シグナルライトについて

ピットレーン先端のシグナルライトは、緑（コースイン可）、赤（コースイン不可）となる。無灯の場合は、緑灯と同様に扱う。また、公式予選およびレース中は常にピットレーン出口で青ライトが点滅される。

ピットレーンでは十分減速すると共に、コースインは走行車両との合流に対し最大限の注意を払い、各自の責任において行うこと（第1ヘアピンをクリアするまでコースの右側を走ること）。

15. ジャンプスタート

(1) ライドスルーペナルティ

- ①当該ライダーに「RIDE THROUGH」の文字の下に車両ナンバーを付した一体型ボードと黒旗を同時にコントロールラインで提示する。また、ピット側にもこれを提示しピット通告とする。

※RIDE THROUGHボードと黒旗の同時提示は、筑波サーキットでのみ行なわれる表示方法とする。

- ②当該ライダーは、レース中ピットレーンを通過するよう指示される。途中、停止することは認められない。

- ③ボードが提示されてから3周以内にピットインせず、ペナルティを実行しない場合、当該ライダーは失格となる。

- (2) 競技結果への30秒の加算。

(3) RIDE THROUGHボードは5.5Pでも提示される。

16. ピットレーンの速度制限

ピットレーン走行中の違反は、重大な事故につながる場合がある。ピットインの際は周りに十分に気を配り、スピードを落として常に停止できる状態で走行すること。尚、ピットレーンの制限スピードは40km/h以下とし、違反した場合には罰則が科せられる。また、サインマンおよびピットインした当該車両のメカニック以外はピットレーン上に出るはならない。従わない場合にはその当該ライダーとピットクルーに罰則が科せられる。

17. ウェットボード提示の判断基準の追加

サイティングラップ開始時点で、路面が全部又は一部がウェットコンディションである。（ハーフウェットを含む）

- [例] ①サイティングラップからグリッドに戻り、ウォーミングアップラップ開始までに降雨があった場合は、ウェットボードを提示し、ウォーミングアップラップスタートを遅らせタイヤ交換の時間をとる。（5分間）
- ②ウォーミングアップラップ中に降雨があった場合は、グリッドに戻り、タイヤ交換の時間を与え、ウォーミングアップラップからやり直す。この場合1周減算。
 - ③スタート直後に降雨があり、赤旗提示がされた場合は再スタート。

18. 競技周回数

クラス	周回数	完走周回数	成立周回数
CBR250R Dream Cup	12L	9L	8L

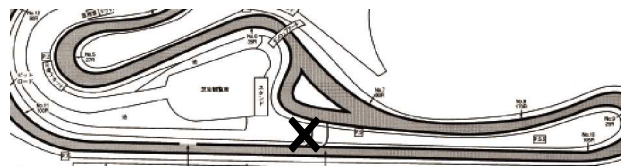
※各クラスにおいて、WET時（WET宣言が提示された場合）は、決勝レース周回数を2周減算する場合がある。その場合各レースのサイティングラップ開始までに公示される。

19. 違反行為に対する罰則について

- (1) 違反に対する罰則は最高で失格、罰金の場合は最高20万円とする。罰金はMFJに管理される。
- (2) 訓戒を重ねると（積算）、罰金に至る場合がある。（訓戒とは文書による注意）
- (3) 口頭注意は罰則としない。
- (4) パーツの落下やオイル漏れが、他車の転倒等の要因を作ったと認められる場合、当該選手に罰則を科す場合がある。

20. ショートカット

ショートカットの使用は禁止される。使用した場合にはペナルティが科せられる。



21. チェッカーフラッグの提示場所

予選・決勝を通じ、チェッカーフラッグはフラッグタワーにて提示される。また、視認性向上のためフラッグタワー下(後方)でも補助的に出される場合がある。

22. 再車検後の車両引取りについて

車両返却時のトラブル防止の為、車両保管解除後のマシン返却の際、**ライダーのMF Jライセンスまたは運転免許証等の身分証明が可能なものを必ず持参すること。**

23. 暫定表彰式

- (1) 各レース終了後、コース上グランドスタンド前にて1～6位までの暫定表彰を行います。対象者はコース上の表彰台前まで車両を持って来て下さい。
- (2) ノンアルコールシャンペンを授与いたしますが、少量のアルコール(0.49%)が含まれておりますので、レース後に運転される方及び未成年の方はお飲みにならないで下さい。

24. 表彰式

競技終了後の表彰式をVIPルームにて行う。下記のライダーに正賞および副賞を授与する。

尚、賞典の受け渡しは、当日大会終了時までとし、終了後は受け取りを拒否したものとみなします。

クラス	表彰順位
エキスパート	1～6位
ビギナー	1～3位

25. 医療施設の利用義務

- (1) 負傷したライダーは最初に施設の医務室で診断を受けること。**医務室の診断記録に記録がないと保険がおりない場合がある。**
- (2) サーキット指定病院 : 八千代病院 〒300-3551 茨城県結城郡八千代町栗山238 TEL:0296-48-1181

☆お願い 施設内の安全管理の為、エントリー1台に対して消火器を1本携帯していただきますようお願いいたします。

☆ご注意

最終コーナー立ち上がりホームストレート左側、縁石(赤白)外側の退避レーン(緑色の部分)は、走行時において転倒や接触を防ぐための緊急回避スペースとなり、原則この退避レーンを通常走行レーンとしての使用は認められていません。これに違反した場合は罰則の対象となる場合がございますのでご注意ください。また、一度路側帯へ出た車両がコース側に戻る際の接触事故が発生しています。細心の注意を払うようお願いいたします。

お知らせ：1 パドック間のコース横断・往来について

各パドックとコースの往来が行えます。これは、Bパドックおよびメインスタンド裏の利便性を高めるためとなります。各走行のインターバル時に下記を開放する予定です。横断する場合は係員の指示に従うようお願いいたします。

1. Bパドック(1ヘアピン側ゲート) ⇄ Aパドック(ドライバーズサロン脇ゲート)
2. メインスタンド側駐車場(P4) ⇄ Aパドック(ガソリンスタンド脇)

お知らせ：2 レース前日のスタート練習について

大会中、皆様に少しでも安全にレースをして頂けますよう、スタート練習の時間を設けました。通常のスポーツ走行ではなかなか十分なスタート練習ができない上、決勝ではスタート直後の重大事故も珍しくありません。普段は、決勝レースでしか行えないグリッド上からのスタートを練習できる貴重な機会です。是非ともご参加下さい。

※スタート練習のみに参加ご希望の場合、サービスセンターにて念書の記入が必要です。

- ・ スタート練習時間 11月22日(金) 16:10～
- ・ 進行手順
 1. 走行できる準備をして、コントロールタワー横Bゲート(コースインゲート)に整列、待機して下さい。
 2. 係員の誘導により、排気量順にてグリッドに整列します。1度にスタートする台数は2列6台を予定しております。
 3. スタート進行 : グリッド前方でオフィシャルにより赤旗提示→赤旗がコースサイドに退去→フラッグタワーにてレッドシグナル点灯→消灯(スタート)
 4. スタート後、加速区間はメインストレートのみとし、その後は徐行しながら第1ヘアピン進入右側(Aパドック側)のゲートより、コースアウトして下さい。再度練習を希望される方は、係員の誘導に従って下さい。
- ・ 注意事項 : ヘルメットリムーバー、脊柱プロテクション、胸部プロテクションを装着して下さい。
あくまでもスタート練習ですので、タイヤ冷間に伴う第1コーナーでの転倒に十分ご注意ください。
当日の特別スポーツ走行の進行状況・気象状況により中止・遅延する場合がございますので、ご了承下さい。

本通知に記載されていない事項は、2019MF J国内競技規則、2019CBR250R Dream Cup技術仕様基準に準ずる



CBR250R Dream Cup
グランドチャンピオンシップ
ビギナーチャンピオンシップ
大会事務局長 渡邊 徳仁